

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。 そして今回の「お元気アナウンサー」はこの方です！</p> <p>廣川： みなさんこんにちは。廣川陽子です。よろしくお願いします。</p> <p>田村： 安定の廣川さんですね。</p> <p>廣川： またお邪魔しました。</p> <p>田村： よろしくお願いします。むっちゃん来ますやん。</p> <p>廣川： そんな嫌がらないでくださいよ。</p> <p>田村： 嫌がってない嫌がってない。全然嫌がってない。</p> <p>廣川： ウエルカムしてください。</p> <p>田村： もちろんウエルカムですよ。結構空いてたのに、急にポンポンって来たから むっちゃん来るな～って。</p> <p>廣川： ビックリしますよね。私もビックリしてます。</p> <p>田村： みんな驚いてる状態ですが。</p> <p>廣川： よろしくお願いします。 さて、前回の収録の後に、大阪も緊急事態宣言の対象になりまして、</p>

2月7日までの期間、不要不急の外出・移動の自粛、特に夜8時以降の不要不急の外出自粛の徹底をするようにと呼びかけられています。

田村：

そうですね。前回とは違って、前は「とことん出ないでくださいね」という感じでしたけど、今回は不要不急を強めた感じで、経済活動も極力止めなくて済むところは止めずに、且つ感染予防対策はしましょうって感じですよ。

廣川：

そうですね。2月は寒さもピークになっていきますから、体調を崩しやすい時期でもありますよ。

田村：

実際にかかった後輩、大変やったみたいですよ。
最初に熱出て、コロナちゃうかって調べたら陰性出ちゃったんですって。ほんで陰性やけど熱あるってなったら、コロナじゃない熱持ちを受け入れてくれる病院がとことん無くて、どんどん体調悪くなっていってちょっと命の危険感じるレベルまで行って、そのタイミングでようやく病院が見つかって検査して貰ったら肺炎を起こしてその後調べたらコロナ陽性が出たんですって
本当にコロナにかかったら病院あるから、かからへんようにしましょうレベルじゃなくてなんらかの病気になった人が助かる命が助からへん瀬戸際まで来てるというのはほんまに思いましたね。

廣川：

そのためにも皆さんもちょっと体調が悪いとか、熱があるとか、新型コロナウイルスの懸念があるという場合は、かかりつけのお医者さんとか地域の身近な医療機関に電話をして、その指示を仰ぐようにしてください。

田村：

みなさんで気を付けていきましょう。

廣川：

医療機関でもしっかり感染対策をとったうえで対応して下さるということですので、事前に電話をして確認を取ることが大事みたいですね。
夜間や休日、またはどこに電話をしたらいいかわからない場合は「吹田市新型コロナ受診相談センター」で相談できます。
電話、06-7178-1370
平日の午前9時～午後5時30分まで受け付けしています。

夜間や休日は、050-3531-5598 で受け付けています。

田村：

本当になんとか収束に向けてみんなで頑張っていきましょう。

廣川：

それぞれが気を付けていきましょう。それでは、特集にまいりましょう
今回の特集は最近よく聞く“あの言葉”についてです。

特集「SDGs ってな～に」

麒麟君

田村さん、田村さん！ はじめまして麒麟君です。

今回は最近よく耳にする「SDGs」って言葉を田村さんでもわかるように、突撃取材で聞いてくるからね。一緒に理解していこうよ。準備いい？田村さん。

今回、突撃取材するテーマはこちら！

「エス・ディー・ジー・ズ」っていうんだけど、新聞やニュースでも見たり聞いたりすることが増えたと思うんだけど、田村さん、これ何の略か分かる？

はい、ブブッ～！やっぱり田村さんじゃあ、分からないよね。答えは…、実は僕も知りません。なので、このSDGsを聞きに突撃取材に行ってくるよ。

ナレーション

麒麟君がやってきたのは大阪学院大学。ここなら小難しいことがわかる人がいそうですね。

麒麟君

このドアの向こうにSDGsを教えてくれる人がいるんだよ。じゃあ、こんにちは。

三輪先生：

どうぞお入りください。

ナレーション

今回SDGsのことを教えてくれるのは、国際学部の三輪信哉先生。

麒麟君

どうも三輪教授、はじめまして。

三輪先生：

やあ、麒麟君 ようこそ。

麒麟君

今日はね、このSDGsについて聞きに来ただけど、スタジオの田村さんにも分かりやすく教えて欲しいんだ。田村さんだからすごくかみ砕かないと分からないと思うんだけど、どうですか？

三輪先生：

じゃあ、頑張ってみましょう。

麒麟君：

じゃあ、最初はやっぱりSDGsとは何か、教えてくださいませんか？

三輪先生：

SDGs というのは2015年に国連で話し合われたもので「持続可能な開発目標」と言います。17の目標と169のターゲットがございまして、これを2030年までに地球人全員で達成しようというものです。

麒麟君

ごめんなさい先生、それじゃ難しいです。もっとかみ砕いて、田村さんにも分かるようにして下さい。

三輪先生：

そうですね、「未来の地球を守る17のお約束」ということでどうでしょうか？

麒麟君

ずいぶんと分かりやすくなりました。

ナレーション

17個のお約束には貧困や飢餓、健康や教育など発展途上国を支援するものから、エネルギー問題や働き方などの先進国に関わりの深いもの、そして気候変動など地球全体に関わることなどが含まれているんです。

麒麟君

たくさんあるけど、そのお約束は国や大きな会社がやることなんでしょ？

三輪先生：

いやいやそうじゃなくて、自分たちの生活がすごく密着しているのを知っていかないとダメだと思うんです。例えば皆さん方がなにげなく街でプラスチックを捨てると、それがやがては海に入って、そして海がとっても汚れて今大変な問題になってるし、それから例えば去年だったら秋刀魚なんかも捕り過ぎてすごく高くなって、我々がどういうふうにして生活するかというのと直結しているという問題なんだよ。

麒麟君

結構、身近なことなんだね。それじゃあ三輪先生、もっと具体的に教えてよ。

三輪先生：

じゃあ、17のお約束の中から二つ取り上げて、吹田市の企業がどのように取り組んでいるか、紹介してみよう。まずは、このお約束。

(貧困をなくそう)

三輪先生：

これだけ日本が豊かになると貧困ってあんまり想像できないかもしれないけれど、地球には77億人が住んでいて10億人はまだ貧困な生活をなさっているといわれています。例えばトイレがない、いい水が飲めない、家がないとかね。本当に大変な状態に置かれていますし、しかも子供達は病気にかかりやすかったり、安い賃金で働かなければいけなかったり、本当に大変な方々もたくさんいますよね。でもそれは世界のことだけじゃなくて、日本でも最近本当に経済状況が悪くて朝ごはんが食べられない、給食だけで生活しているというお子さんとかもいますもんね。だからこれは海外のことだけではなくて、自分たちの国のことでもあるわけですね。

キリン君：

貧困といえば、田村さんも子供のころはホームレスだったよね。

田村：

改めて言わんでええわ。確かに貧困は本当に大変ですから、極力それに苦しむ人が少ない方がいいですよ、もちろん出来ることをしっかりやらないとという感じですね。

キリン君

じゃあ、三輪先生。この「貧困をなくそう」に取り組んでいる企業ってあるの？

三輪先生：

はい、あるんですよ。こちらをどうぞ。

ナレーション

こちらはみなさんおなじみのイオン吹田店。
その売り場の一角に特別に集められた商品がありました。

イオン吹田店 中川さん：

我々イオンではフェアトレード商品の取り扱いをしております。
フェアトレード商品とは発展途上国の生産者さんを守るための商品の販売をさせていただきます。例えばこちらにございますように、ジャム、コーヒー、またチョコレートといった商品がございます。

ナレーション：

フェアトレード対象の商品には、このようにフェアトレードマークがついているんですよ。皆さん気づいてましたか？

イオン吹田店 中川さん：

お買い物しながら国際貢献ができることになります。

三輪先生：

例えば僕たちは本当に安い生活ができますよね。例えば上から下まで安い服が着れるでしょ。こうした服がどこで作られていて、どんな人によって作られているかって考えてみたことはあるかな？例えば現地では本当に若い女の子達が朝から晩まで低賃金で働いて、本当に家族を養うのに必死だったりするんだよね。そうだとすると、そこにその方々がちゃんとした生活ができるようになって、ちょっと高めになるかもしれないけれど、お金を払っていくというのが大事になるでしょ？こういう仕組みがフェアトレードっていうんですよね。

麒麟君

僕たちにもできることはあるの？

三輪先生：

うん、だから自分たちの食べているもの、例えばバナナとかコーヒーとかもそうですけど、どんな国で作られて、どんな方々が作っているかってことをよく想像してみると高い安いがわかってくるでしょ。そういうことも一つありますよ。それからまた例えば、それ以上にもっと困っている人がいるかもしれないから、いろんな募金をすることもできるでしょ。こんなふうにして自分たちが向こうの遠くの世界の方々にお役に立てることはいくらでもあるんじゃないでしょうか？

麒麟君：

なんかすごく身近に感じてきた。

三輪先生：

じゃあ、次の項目はこれですよ。

(つくる責任 使う責任)

麒麟君

「つくる責任、使う責任」ってどういうことですか？

三輪先生：

なかなかそれだけ聞いてると難しいよね。でも例えば恵方巻きっていうのがあるでしょ。あの時に昔のことだけどすごくたくさん作り過ぎて、終わったらすごくたくさんゴミが出たということもありますね。それからみなさんのおうちでも冷蔵庫を開けてみたら、奥の方から賞味期限、消費期限の過ぎたものがたくさん出てきてゴミにするということがどうしてもあるかもしれませんね。適切に作って適切に使い切る、これがとても大事なんですよね。

麒麟君：

貧困を経験した田村さんは食べ物を残すなんて許せないよね？

田村：

そうですね。基本的には食べ物は残さないように気を付けてますし、家族にもそういうふうに言ってますね、子どもたちにも。

麒麟君

ふーんじゃあ、この食品ロスについて取り組んでいるところもあるの？

三輪先生：

実際にやっているところがあるんですよ。

ナレーション

さて、こちらは吹田市役所の廊下なんですけど、なにやら運び込まれてきてますね。実はこちらの段ボール箱は大阪学院大学の災害備蓄品なんですけど、これどうなっちゃうの？

吹田市環境部 圓谷さん：

吹田市では現在「フードドライブ」という取り組みを行っております。

「フードドライブ」とはご家庭で余っている食材をご提供いただきまして、子ども食堂や福祉団体を通じて食材を必要としている人々へ分配するという取り組みです。ご家庭で不要になった食材を集めておりますので、廃棄物の減量にもつながり環境対策としても有効だと考えております。ご家庭のみならず、事業者様からも災害備蓄品などもご提供いただいております。今年度より年2回、定期的に実施しております、今後も定期的に実施して行きたいと考えております。

三輪先生：

最近あまり言われなくなったけど「もったいない」って言葉があるでしょ。本当に自分たちが買うもの、使うもの、これって一つ一つに命があるよね。だからそれをいつも考えながら使っていくと、やはり物を大事にするし、捨てなくて済むし、そういうことじゃないかしらね。

麒麟君

そうだね。僕たちができることってなあに？

三輪先生：

いろいろ身近にできることがありますよ。例えば昔はすぐにペットボトルを買って飲んでいたけど、家からポットを持って行って飲むとかね、消費期限を知って物を捨てないようにしましょうということもありますね。それからマイバックを持っていくのもそうですし、いろんな取り組みがあるんじゃないでしょうか？

麒麟君

そっか。でも、このお約束は本当に達成できるのかな？

三輪先生

本当になんか無理のような気がするでしょ？ でも、いよいよ国が重い腰をあげましたよ。例えば2050年に地球温暖化を防ぐため二酸化炭素の排出量を0にしましょうとか、それからプラスチックゴミも同じで「ブルーオーシャンビジョン」というのがありまして、2050年にプラスチックが海に流れ出ないようにしましょうと。本当にこれは大きな大きな決断でした。

麒麟君

先生、達成のためのポイントは何なんでしょう？

三輪先生：

やっぱりこれは誰かがやってくれるというもんじゃなくて、一人一人がいつも関心を持って、そしてまたいつも自分が何ができるんだろうと考えながら行うことじゃないですかね？

麒麟君

地球のためにもっと協力しないといけないね。ねっ田村さん、SDGs 理解できた？

三輪教授。今日はどうもありがとうございました。

三輪先生：

こちらこそ、ありがとうございました。

麒麟君

あのさ、先生のこのお部屋、ずいぶん散らかっているね。
SDGs の勉強の前にお部屋の掃除をした方がいいんじゃないの？

三輪先生

本当に難しいんだよね こればかりは…。

TIME	内容
	<p>廣川： 新キャラ登場でしたね。</p> <p>田村： ホンマですね。三輪さん、本当にありがとうございました。 全部乗っかっていただきましてね。</p> <p>廣川： そして、キリン君も。</p> <p>田村： 新キャラ登場で、言いたいことズバズバ言ってましたね。</p> <p>廣川： ちょっと強気でしたね、田村さんに対して。</p> <p>田村： 俺のこと、だいぶん下に見てましたね。腹立ちましたけど。</p> <p>廣川： でも、すごくよく分かりましたね。</p> <p>田村： そうですね。なんとなくSDGsって言葉を耳にするようになって、 でもみんな何か詳しく分かってないという感じがするので、ええ機会ですよ。</p> <p>廣川： 三輪先生もおっしゃってましたけど、やっぱり他人事と思わず自分のこととして 考えるのが大事だとおっしゃってましたね。</p> <p>田村： そんなに僕は何かをしてるわけじゃないですけど、でも最低限の出来ることは やりつつありますけどね。</p> <p>廣川： お子さんにも食べるものを残さないようにっていうのを言ってるって。</p> <p>田村： まあ、それはね、ご飯粒1つ残らへんように頑張って食べてねと言うては いますけどね。</p>

廣川：

私もマイバッグを持つようになりましたね、お買い物するとき。

田村：

マイバッグはだいぶ増えたでしょうね。マイバッグとかマイお箸とかね。

廣川：

マイボトルとか。

田村：

それはだいぶ増えてますよね、昔に比べたら。

廣川：

無駄使いをしないとか、物を大切にするっていうのは、現代の中でどうしても消費する方ばかりに注目されてしまうことが多いですけど、物を大事にするっていうのは大事ですよ。

田村：

国によっては食べ残しが文化やったりするじゃないですか。

廣川：

そういうところもありますね。

田村：

アメリカって全部大きいじゃないですか、コーラでもデカイ、ハンバーガーもデカイ。あれって、みんなめっちゃ食うからデカイと思ってたんですよ。

廣川：

そうやと思ってました。

田村：

でしょ。僕、アメリカ行って見てたんですよ。朝食とかでも、すごい大きいお皿に卵焼きとかもスクランブルエッグ大量とかソーセージもデカイとか。見てたら、みんなめっちゃ残してるんですよ。むちゃくちゃ残してるんですよ。だから、みんながみんな欲しくて食ってるんじゃないくて、サービスでやってるんですよ。全員が食べきるわけじゃないんですよ。それが常識になってるんで、そんなんは日本も含めて改善していけたらいいのになって。

廣川：

次回から、SDGsに関する取り組みを行っている企業とか市民団体などを取材して、具体的な取り組みをご紹介します。

田村：

これは助かりますね。教えてほしいですね。教えてもらうと「あ、これ、俺も出来るやん」って気付きがあるかもしれませんから。

廣川：

視聴者の皆様と一緒に小さなことからコツコツといろんなことを続けていきたい。

田村：

あら！西川きよし師匠や。

廣川：

未来の地球を守る17のお約束、一緒に守っていきましょう。
以上、特集でした。

<ワンポイント手話>

有名人で好きなのは誰ですか

TIME	内容
	<p>田村： 続いては、市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>廣川： 今回は年始の話題をお届けします。</p>
	<p><u>ナレーション（廣川）</u> 1月11日、「パナソニックスタジアムすいた」を会場に、新成人をお祝いする「吹田市成人祭」が行われました。</p> <p>今年度、吹田市で成人となったのは3880人。 今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場を屋外に移し、 入場時には消毒・検温を行うなど、感染対策を講じての開催となりました。</p> <p>記念式典では、新成人が小中学校の時の担任の先生や、ガンバ大阪の宮本恒靖監督などからのビデオメッセージが上映されました。</p> <p>新成人の司会で式典が始まると、始めに後藤圭二市長が式辞を述べました。</p> <p>続いて西川俊孝教育委員会教育長が励ましの言葉を、 木村裕市議会議長が祝辞を述べて新成人を激励。</p> <p>最後は新成人を代表して吉村春香さんが「はたちの言葉」を述べ、 決意を新たにしました。</p> <p><u>インタビュー</u> コロナ禍ですごい大変な中、聞いて頂いてありがとうございます。 気を引き締めて、二十歳として社会に出るために頑張っていこうと思います。</p> <p>プロでボクシングやってるんですけども、今年「新人王」という大会に出ようと思ってるんで、それでちょっと全日本を獲ろうかなって思ってます。</p> <p>周りに一緒に居てくれる人とかに、感謝の気持ちを忘れずに生きていけたらいいかなと思います。</p>

TIME	内容
	<p>廣川： みなさんの頼もしい言葉がありましたね。</p>
	<p>田村： 「全日本を獲ろうかなって思います」って、「ちょっとコンビニ行こうかなって 思います」みたいな感じで言うてましたけど。でも強いんでしょうね。 自信あるんでしょうね。</p>
	<p>廣川： 今年の新成人は男性が2035人、女性が1845人ということでしたね。</p>
	<p>田村： 多いのか少ないのか、どうなんでしょう？ でも、スタジアムあって 良かったですね。中止になってるところもありますもんね。</p>
	<p>廣川： 屋外の成人式でいうと、東大阪市が花園ラグビー場、兵庫県西宮市は 甲子園球場でおこなっているということなんですが、大きいスタジアムって そんなに無いですから。</p>
	<p>田村： そうですね。吹田は強いね、そういう意味ではね。対応力がありますよね。</p>
	<p>廣川： ある意味でスペシャルな成人式になったかもしれないですね。</p>
	<p>田村： 逆に思い出ですよ。</p>
	<p>廣川： 市長の言葉も新成人のみなさんに届いたんじゃないですかね。</p>
	<p>田村： そうですね。何かええこと言ったんでしょうね。知らんけど。</p>
	<p>廣川： 以上、「吹田のトピックス」でした。</p>

TIME	内容
	<p>田村： あれ！？ これはもしかして！？</p> <p>井上さん： 田村さん、収録お疲れ様です。</p> <p>田村： お疲れ様です。どうしたんですか？見慣れない顔がいてますけど。</p> <p>井上さん： 今日はパンが大好きな田村さんに伝えたいことがあって「すいぱん」を持ってやってきました。</p> <p>田村： 前回食べさせていただきましたが、もちもちで美味しくて流行りそうやなと思ったんですけど、わざわざ何か言いに来たってことは、もしかして売れ行き絶好調とか言いに来たんですか？</p> <p>井上さん： ありがとうございます。そうなんです。</p> <p>田村： え！そうなん！？ほんまにそうなんや！売れてるんですか？</p> <p>井上さん： 秋に「はびすま」で販売促進イベントを行ったんですけど、連日完売の大好評やったんですよ。</p> <p>田村： 連日完売！すげー！それをただただ自慢しに来たんですか？</p> <p>井上さん： とんでもないです。</p> <p>田村： ほかに用事があるんですか？何ですか？</p> <p>井上さん： 今日は「すいぱん」の新しい味が登場したので、田村さんにいち早く食べていただきたいと思って「すいぱん」を持ってやって来ました。</p>

ぜひ何味か食べて当ててみてください。

田村：

なるほど！当てるタイプね。いいじゃないですか。
ん？美味しい。

廣川：

なんかオレンジが見えます。

田村：

オレンジ色がね。
オレンジがって言うと、オレンジそのものが入ってるみたいですよ。

廣川：

オレンジ色が。なんやろ？

田村：

うん。旨い。ん～っとね、分かった！ホンマに分かった！あれや！卵の花！

廣川：

あ！っほい！

井上さん：

正解は「ポテトサラダ味」です。

田村：

え！

廣川：

ポテトサラダだ！

田村：

なるほど！ポテサラやと思ったんですよ。
でも、それだけは言ったらアカンやろうなと思ったんですよ。

井上さん：

今回食べていただいた以外にも期間限定も含めて14種類の「すいぱん」が
販売されているんですよ。

田村：

え！？14種類！？

井上さん：

コロナの関係で製造が滞っていたんですけど、この秋から2つの施設での製造が開始されたんです。

田村：

14種類も作ってるの？

井上さん：

「はびすま」ですごく人気で今も開発を頑張ってるんです。

田村：

味が増えた方がいいやろうと思って、どんどん考えてるんや。
へえ～そうですか。

井上さん：

今、新しく吹田らしい「すいぱん」の味を開発中なんですけど何味でしょうか？

田村：

食べても無しで？ さっきは食べて当ててくださいやけど、今度は想像で？

廣川：

新しい味…。

田村：

え～！？なんやろうな？

新しい味…。吹田といえば、消防署が割と有名なんですよ。

消防署は味にしにくいと思うので、消防署といえば放水で水じゃないですか。
だから、水味！…ってのは、どうでしょうか？

井上さん：

全然違います。

田村：

全然違う！？

井上さん：

正解は、「吹田くわい餡」です。

田村：

あ～！くわいか！

井上さん：

平野農園さんからくわいを仕入れさせていただいています。
パンの中に入っている餡のレシピは千里金蘭大学の食物栄養学科の
学生さんが提案していただいたものを採用しました。

田村：

へえ～。金蘭も関わってるんや。

井上さん：

はい。今、吹田市内2つの事業所が製作に関わっています。
「すいぱん」は子どもさんに食べていただきたくて作っていたので、
くわい独特の苦みや風味をどうしていくかが、今の課題です。

田村：

なるほど。一番のウリを上手く緩和せなあかんねや。子ども向けですからね。
それを上手くクリアしていただくと人気が出そうなものになりそうですね。
開発頑張ってください。

井上さん：

ありがとうございます。
元々は吹田市の職員さんの発案で始まった「すいぱん」なのですが、
今は我々「吹田市障がい者の働く場事業団」の知名度の向上と、
障がいのある方の工賃のアップを、そして千里金蘭大学さんでは学生さんの
キャリアアップと研究の披露の場の提供を、そして吹田市さんとしても、
新たなPRポイントとしてそれぞれ Win-Win になるようにしていきたいと
思っています。

田村：

なるほど。全てが得するということですね。買って食べる人も美味しいと。

井上さん：

ありがとうございます。

田村：

Win-Win- Win-Win ですね。言っていしましょ、日ごろから。
Win-Win- Win-Win ね。

井上さん：

「吹田くわい餡」は2月の発売開始に向けて今開発を進めているところなんです。

田村：

なるほど。ということは今研究開発をしていて、言うてる間に販売されると
ということですか？

井上さん：

そうなんです。